

「ガイダンス+マインドマップ」教員指導案

- (1) 目標：2年次に行う本格的な文系的な課題研究に入るウォーミングアップをする。
- (2) 教材：①「生徒配布資料」(A3片面 各自1枚)
 ②「新聞記事(朝日新聞朝刊「文系で学ぶ君たちへ」2016年4月7日)」(A3片面 各自1枚)
 ③「マインドマップの例」(A4片面 各自1枚)
<https://shimojikiyotaka.jp/contents/wp-content/uploads/2014/08/unnamed.png>
 ④「年間授業計画」(A4両面 各自1枚)
- (3) 持ち物：筆記用具、AKCファイル、色ペン(数種類)
- (4) 事前準備：①班分け

グループワークA 1班3名

グループワークB 1班4名

※班編成については、特に指定しません。座席表通りで指定しても、男女が交ざるよう
に担当の先生で指定してもらっても、どちらでもかまいません。

②(必要に応じて)座席表

- (5) 担当者：各クラス担任(各教室で実施)

教室	2-1	2-2	2-3	2-4
担当				

(6) 本時の指導計画

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	本時の内容の確認	・本時は、「ガイダンス」を行うと伝える。	
展開1 5分	探究AKC II αの概要・予定および探究AKC II αの目標の説明	・探究AKC II αの概要・予定について理解する。 ・探究AKC II αの目標について確認する。	・①「生徒配布資料」、④「年間授業計画」を <u>1人1枚</u> 配布する。 ・①「生徒配布資料」、④「年間授業計画」を参考に、説明を行う。 ※最終目標は一人一人が論文を書き、その内容について、3年6月の「探究活動発表会」で発表することを強調する。 ※①「生徒配布資料」の「文系総合の目標」の太字ゴシックになっているところを読み上げる。
展開2 7分	ワークAの記入 (個人)	・グループワークAに分かれ る。 ・「新聞記事から文系で研究を する意義とは何か」の読み取 りをする。	・「新聞記事」を <u>各自1枚ずつ</u> 配布する。 ・3人の論考のうち、どれを読むのか担当を決める。 ・担当した文章を読み、文系での研究の意義について、読み取った見解をプリントに書かせ、1分以内で伝えられるようにさせる。(5分)
展開3 10分	ワークAの共有 (班)	・班のメンバーと意見交換し ながらワークAの自分の担 当外の部分を記入する。	・グループで、読解した内容を共有させ、他の人が読み取った見解をプリントに書かせる。(7分) ・担当の先生から、新聞記事の方向性や探究AKC II αの目標に沿うように、文系の研究の意義・面白さについて伝える。

展開4 10分	ワークBの記入 (個人)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークBに分かれる。 ・班のメンバーと意見交換をしながら、ワークBを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・③「マインドマップの例」を各自1枚ずつ配布する。 ・4人グループを作らせる。 ・机を移動させ、4人班の座席にさせる。 ・グループで、4つのテーマのうち、どれを担当するのかを決めさせる。 ・マインドマップの記入例をグループに1枚配り、その上で手順を確認させる。 ・マインドマップを書く際の以下の注意事項を伝える。 ※枝（中心から伸ばした線）ごとに色分けする。 ※枝の上に書くのは単語にする。文章で書かない。 ※楽しむ。 ・マインドマップに取り組ませる。（7分）
展開5 10分	ワークBの共有 (班)		<ul style="list-style-type: none"> ・グループで、個々が作成したマインドマップを共有する。<u>見せ合い、コメントし合う中で、新たな連想ができたら、マインドマップに順次付け加えていく。</u>（10分。ただし残り時間の3分前には終了する）
まとめ 3分	本時のまとめと 次回の連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・AKC ファイルに本時で使用したプリントを綴じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「次回からの4回は、コース決めを行うためのプログラムです。各コースで実際に問題になっていることはどういうことかについて、おおよその基礎知識を付けてもらいます。新聞記事が配られるので、それを個人で読み解き、グループで共有していくプログラムを予定しています。」と伝える。

2年____組____番 氏名_____

令和●年度 第●回 探究 AKC II α (第2学年) 生徒配布資料

1 探究 AKC II α の概要・予定

文型4クラスを「家族・ジェンダー」「経済」「地域・文化」「国際」の4つのコースに分ける。各コースの人数は均等になるようにします。各コースにおいて、全員が論文を書き、3年次の「探究活動発表会」で発表します。

1 学期①：テーマ学習

「家族・ジェンダー」「経済」「地域・文化」「国際」の4つのテーマにおいて、何が問題となっているか新聞記事等を通して知ります。

2 学期①：読解発表準備

入門書の内容を班ごとに分かれて読み解き、レジュメにまとめる。

2 学期②：読解発表

入門書の内容をまとめた成果を「授業形式／ゼミ形式」で発表します。それを通じて入門書の内容を理解します。

2 学期③：問題設定・先行研究調べ・研究

自分が書く論文の「問い合わせ」を決め、「先行研究（その問い合わせについてどのようなことが先に研究されているか）」を調べます。

3 学期：各自で研究・論文作成

研究計画を立てつつ、研究し、論文を書きます。担当の先生から適宜アドバイスを受けていきます。

2 探究 AKC II α の目標

探究 AKC II α の目標

(人文・社会) 科学を使える力（科学的思考力を課題発見や問題解決に活用する能力）の育成
1年生では探究 AKC I を通じて、「課題発見力、仮説設定能力、物事を多角的に見る力・考える力、知識の活用力、表現力の向上」をさせてきました。2年生では、身に付けてきた力をさらに向上させつつ、文系的なテーマにおいて、そして文系的な手法に基づいて、「実践的な研究力（課題発見力・仮説設定能力・課題解決力・表現力）の向上」を目指します。

とは言っても、みなさんには文系でそもそもどのようなことについて研究を行うのか、そしてそれを行う意味はあるのか、分からなかったり、疑問に思ったりするでしょう。

Q1 そこで、とある新聞記事を読んでみましょう。新聞記事に文系の研究の意義はどのように述べられているでしょうか。

問い合わせ：文系で研究する意義はどのように述べられている？

新聞記事①

新聞記事②

新聞記事③

3 テーマについて、現段階で発想してみよう

Q2 マインドマップを用いて、「家族・ジェンダー」「経済」「地域・文化」「国際」の4つのテーマについて、どのようなことが問題となっているのかについてマインドマップの手法を用いて発想してみよう。

手順1：四人グループ内で担当テーマを決める。

手順2：下の円に担当テーマを書き入れる。

手順3：放射状に線を伸ばす。

手順4：線の上に連想する言葉を書く。

手順5：関連するキーワードを次々に書く。

手順6：四人グループで作ったマインドマップを見せ合い、気付いたことを話し合う。

